

平成15年3月期

個別財務諸表の概要

平成15年5月16日

会社名 ジャパンシステム株式会社

登録銘柄

コード番号 9758

本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.japan-systems.co.jp>)

代表者役職名 代表取締役社長

氏名 阿江 勉

問い合わせ先 責任者役職名 経理部長

氏名 佐藤 信

TEL (03) 3795-1311

決算取締役会開催日 平成15年5月16日

中間配当制度の有無 有

定時株主総会開催日 平成15年6月27日

単元株制度採用の有無 有(1単元 1,000株)

1. 15年3月期の業績(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

(1) 経営成績

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15年3月期	10,257	(3.1)	722	(12.4)	743	(12.0)
14年3月期	10,585	(18.3)	825	(19.3)	845	(17.2)

	当期純利益		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	株主資本 当期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
15年3月期	411	(-)	15 80	- -	12.4	12.1	7.3
14年3月期	587	(-)	22 57	- -	17.3	14.5	8.0

(注) 期中平均株式数 15年3月期 26,048,462 株 14年3月期 26,049,416 株

会計処理の方法の変更 無

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2) 配当状況

	1株当たり年間配当金			配当金総額 (年間)	配当性向	株主資本 配当率
	円 銭	円 銭	円 銭			
15年3月期	0 00	0 00	0 00	0	-	-
14年3月期	0 00	0 00	0 00	0	-	-

(3) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15年3月期	6,465	3,505	54.2	134 58
14年3月期	5,841	3,105	53.2	119 21

(注) 期末発行済株式数 15年3月期 26,046,590 株 14年3月期 26,049,190 株

期末自己株式数 15年3月期 5,242 株 14年3月期 2,642 株

2. 16年3月期の業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	4,200	100	55	0 00		
通期	10,200	700	385	0 00	0 00	0 00

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 14円78銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

財務諸表等

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第 33 期 (平成14年3月31日現在)		第 34 期 (平成15年3月31日現在)		比較増減 金 額
	金 額	構成比	金 額	構成比	
(資産の部)		%		%	
流動資産					
1. 現金及び預金	201,675		296,736		
2. 売掛金	2,395,837		2,700,056		
3. 商品	55,399		72,711		
4. 仕掛品	340,953		441,511		
5. 前渡金	10		13		
6. 前払費用	26,463		30,552		
7. 繰延税金資産	164,956		167,107		
8. 未収入金	109,756		108,396		
9. その他	7,384		9,080		
10. 貸倒引当金	3,900		2,600		
流動資産合計	3,298,536	56.5	3,823,566	59.1	525,030
固定資産					
(1) 有形固定資産					
1. 建物	44,132		43,730		
2. 構築物	3,370		639		
3. 工具器具及び備品	210,868		211,332		
4. 土地	411,843		411,843		
(有形固定資産合計)	670,214	11.5	667,545	10.3	2,669
(2) 無形固定資産					
1. 電話加入権	9,348		9,348		
2. ソフトウェア仮勘定	31,164		269,318		
(無形固定資産合計)	40,512	0.7	278,666	4.3	238,153
(3) 投資その他の資産					
1. 投資有価証券	269,882		235,478		
2. 関係会社株式	54,150		44,150		
3. 保証金	315,752		352,116		
4. 会員権	178,700		176,300		
5. 賃貸不動産	100,738		46,024		
6. 繰延税金資産	1,068,935		995,729		
7. その他	0		7,861		
8. 貸倒引当金	156,280		161,440		
(投資その他の資産合計)	1,831,879	31.3	1,696,219	26.3	135,659
固定資産合計	2,542,606	43.5	2,642,430	40.9	99,824
資産合計	5,841,142	100.0	6,465,997	100.0	624,854

(単位：千円)

科 目	期 別	第 33 期 (平成14年3月31日現在)		第 34 期 (平成15年3月31日現在)		比較増減 金 額
		金 額	構成比	金 額	構成比	
(負債の部)						
流動負債			%		%	
1. 買掛金		1,336,934		1,414,944		
2. 短期借入金		-		300,000		
3. 未払金		127,100		83,963		
4. 未払費用		70,953		79,746		
5. 未払法人税等		258,614		94,183		
6. 未払消費税等		59,474		51,301		
7. 前受金		98,619		141,888		
8. 預り金		58,383		45,021		
9. 賞与引当金		244,000		250,000		
流動負債合計		2,254,077	38.6	2,461,050	38.1	206,972
固定負債						
1. 預り保証金		460		-		
2. 退職給付引当金		428,926		443,784		
3. 役員退職慰労引当金		52,227		55,692		
固定負債合計		481,613	8.2	499,476	7.7	17,863
負債合計		2,735,691	46.8	2,960,527	45.8	224,835
(資本の部)						
資本金	3,5	1,302,591	22.3	-	-	1,302,591
資本準備金		1,883,737	32.2	-	-	1,883,737
欠損金						
1. 当期末処理損失		96,332		-		
欠損金合計		96,332	1.6	-	-	96,332
その他有価証券評価差額金		16,900	0.3	-	-	16,900
自己株式		1,446	0.0	-	-	1,446
資本合計		3,105,450	53.2	-	-	3,105,450
資本金	3	-	-	1,302,591	20.1	1,302,591
資本剰余金						
1. 資本準備金		-		1,883,737		
資本剰余金合計		-	-	1,883,737	29.1	1,883,737

(単位：千円)

科 目	第 33 期 (平成14年3月31日現在)		第 34 期 (平成15年3月31日現在)		比較増減 金 額
	金 額	構成比	金 額	構成比	
利益剰余金		%		%	
1. 当期末処分利益	-		315,196		
利益剰余金合計	-	-	315,196	4.9	315,196
其他有価証券評価差額金	-	-	5,853	0.1	5,853
自己株式	-	-	1,910	0.0	1,910
資本合計	-	-	3,505,469	54.2	3,505,469
負債及び資本合計	5,841,142	100.0	6,465,997	100.0	624,854

(2) 損益計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	第 33 期 〔自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日〕			第 34 期 〔自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日〕			比較増減
	金 額		百分比	金 額		百分比	金 額
売上高			%			%	
1. ソフトウェア開発収入	7,184,561			7,021,933			
2. 商品売上高	3,400,901	10,585,463	100.0	3,235,447	10,257,381	100.0	328,082
売上原価							
1. ソフトウェア開発原価	5,459,718			5,435,596			
2. 商品売上原価	3,172,218	8,631,936	81.5	2,972,071	8,407,668	82.0	224,268
売上総利益		1,953,526	18.5		1,849,712	18.0	103,813
販売費及び一般管理費							
1. 販売促進費	76,331			92,608			
2. 貸倒引当金繰入額	2,700			-			
3. 役員報酬	70,376			64,807			
4. 役員退職慰労引当金繰入額	26,120			8,824			
5. 給料手当・賞与	480,121			493,645			
6. 賞与引当金繰入額	37,813			39,944			
7. 退職給付費用	41,739			26,019			
8. 福利厚生費	51,815			65,527			
9. 交際費	11,086			10,164			
10. 旅費交通費	31,416			31,540			
11. 通信費	9,225			9,927			
12. 研究開発費	28,767			-			
13. 教育訓練費	23,696			25,134			
14. 採用費	10,972			8,012			
15. 租税公課	14,219			33,386			
16. 減価償却費	7,905			5,803			
17. 地代家賃	80,453			94,424			
18. 事務費	13,747			10,434			
19. 支払手数料	48,393			47,863			
20. その他	61,594	1,128,496	10.7	59,254	1,127,323	11.0	1,172
営業利益		825,030	7.8		722,389	7.0	102,641

(単位：千円)

科 目	第 33 期 (自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日)		第 34 期 (自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)		比較増減
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額
営業外収益		%		%	
1. 受取利息	389		255		
2. 受取配当金	5,910		6,990		
3. 債務整理益	7,040		5,176		
4. 受取賃貸料	10,418		8,979		
5. 保険配当金	3,354		4,400		
6. 雑収入	3,659	30,773	3,041	28,845	1,928
0.3				0.3	
営業外費用					
1. 支払利息	1,722		1,806		
2. 賃貸不動産減価償却費	3,786		1,430		
3. 賃貸不動産管理維持費	2,477		2,124		
4. 雑損失	2,754	10,740	2,024	7,386	3,354
0.1				0.0	
經常利益		845,063		743,847	101,215
8.0				7.3	
特別利益					
1. 投資有価証券売却益	60,073		-		
2. 固定資産売却益	-		9,716		
3. 厚生年金基金代行部分返上益	-	60,073	156,299	166,015	105,941
0.6				1.6	
特別損失					
1. 貸倒引当金繰入額	75,630		4,360		
2. 退職給付会計変更時差異償却額	72,738		64,995		
3. 固定資産売却損	5,923		-		
4. 固定資産評価損	1,728,957		-		
5. 固定資産除却損	-		3,046		
6. 固定資産撤去費	-		4,950		
7. 投資有価証券評価損	-	1,883,249	25,086	102,438	1,780,811
17.8				1.0	
税引前当期純利益 (税引前当期純損失)		978,112		807,425	1,785,537
9.2				7.9	
法人税、住民税及び事業税	499,148		316,536		
法人税等調整額	889,330	390,181	79,359	395,895	786,077
3.7				3.9	
当期純利益 (当期純損失)		587,930		411,529	999,459
5.5				4.0	
前期繰越利益		491,597		-	491,597
前期繰越損失		-		96,332	96,332
当期未処分利益		-		315,196	315,196
当期未処理損失		96,332		-	96,332

ソフトウェア開発原価明細書及び商品売上原価明細書

1. ソフトウェア開発原価明細書

(単位：千円)

科 目	期 別	第 33 期 〔自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日〕		第 34 期 〔自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日〕	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
			%		%
1. 労務費	2	3,282,018	57.0	3,472,128	59.1
2. 外注費		2,180,685	37.9	2,014,826	34.3
3. 経費	3	291,442	5.1	387,019	6.6
当期総製造費用		5,754,146	100.0	5,873,975	100.0
期首仕掛品たな卸高		190,029		340,953	
合計		5,944,176		6,214,928	
期末仕掛品たな卸高		340,953		441,511	
他勘定振替払出高	4	143,504		337,820	
当期ソフトウェア開発原価		5,459,718		5,435,596	

2. 商品売上原価明細書

(単位：千円)

科 目	期 別	第 33 期 〔自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日〕		第 34 期 〔自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日〕	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
			%		%
1. 期首商品たな卸高		101,136	3.1	55,399	1.8
2. 当期商品仕入高		3,126,481	96.9	2,989,383	98.2
合計		3,227,617	100.0	3,044,783	100.0
3. 期末商品たな卸高		55,399		72,711	
当期商品売上原価		3,172,218		2,972,071	

(脚注)

第 33 期 〔自 平成13年 4月 1日〕 〔至 平成14年 3月31日〕	第 34 期 〔自 平成14年 4月 1日〕 〔至 平成15年 3月31日〕																								
<p>1 原価計算の方法 個別原価計算を実施しております。</p>	<p>1 原価計算の方法 同 左</p>																								
<p>2 労務費には次の費目が含まれております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">206,186千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">224,394千円</td> </tr> </table>	賞与引当金繰入額	206,186千円	退職給付費用	224,394千円	<p>2 労務費には次の費目が含まれております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">210,055千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">137,489千円</td> </tr> </table>	賞与引当金繰入額	210,055千円	退職給付費用	137,489千円																
賞与引当金繰入額	206,186千円																								
退職給付費用	224,394千円																								
賞与引当金繰入額	210,055千円																								
退職給付費用	137,489千円																								
<p>3 経費のうち主なものは次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">地代家賃</td> <td style="text-align: right;">94,122千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">旅費交通費</td> <td style="text-align: right;">60,850千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">減価償却費</td> <td style="text-align: right;">7,967千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">機器賃借料</td> <td style="text-align: right;">33,047千円</td> </tr> </table>	地代家賃	94,122千円	旅費交通費	60,850千円	減価償却費	7,967千円	機器賃借料	33,047千円	<p>3 経費のうち主なものは次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">地代家賃</td> <td style="text-align: right;">112,889千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">旅費交通費</td> <td style="text-align: right;">97,547千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">減価償却費</td> <td style="text-align: right;">8,085千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">機器賃借料</td> <td style="text-align: right;">39,363千円</td> </tr> </table>	地代家賃	112,889千円	旅費交通費	97,547千円	減価償却費	8,085千円	機器賃借料	39,363千円								
地代家賃	94,122千円																								
旅費交通費	60,850千円																								
減価償却費	7,967千円																								
機器賃借料	33,047千円																								
地代家賃	112,889千円																								
旅費交通費	97,547千円																								
減価償却費	8,085千円																								
機器賃借料	39,363千円																								
<p>4 他勘定振替払出高の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">販売促進費</td> <td style="text-align: right;">64,654千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事務費</td> <td style="text-align: right;">76千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">教育訓練費</td> <td style="text-align: right;">18,697千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">採用費</td> <td style="text-align: right;">143千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">研究開発費</td> <td style="text-align: right;">28,767千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ソフトウェア仮勘定</td> <td style="text-align: right;">31,164千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">143,504千円</td> </tr> </table>	販売促進費	64,654千円	事務費	76千円	教育訓練費	18,697千円	採用費	143千円	研究開発費	28,767千円	ソフトウェア仮勘定	31,164千円	計	143,504千円	<p>4 他勘定振替払出高の内訳は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">販売促進費</td> <td style="text-align: right;">81,875千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">教育訓練費</td> <td style="text-align: right;">17,688千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">採用費</td> <td style="text-align: right;">103千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ソフトウェア仮勘定</td> <td style="text-align: right;">238,153千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">337,820千円</td> </tr> </table>	販売促進費	81,875千円	教育訓練費	17,688千円	採用費	103千円	ソフトウェア仮勘定	238,153千円	計	337,820千円
販売促進費	64,654千円																								
事務費	76千円																								
教育訓練費	18,697千円																								
採用費	143千円																								
研究開発費	28,767千円																								
ソフトウェア仮勘定	31,164千円																								
計	143,504千円																								
販売促進費	81,875千円																								
教育訓練費	17,688千円																								
採用費	103千円																								
ソフトウェア仮勘定	238,153千円																								
計	337,820千円																								

(3) 利益処分案

損失処理計算書

(単位：千円)

利益処分案

(単位：千円)

期 別 科 目	第 33 期 〔自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日〕	期 別 科 目	第 34 期 〔自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日〕
	金 額		金 額
当期末処理損失	96,332	当期末処分利益	315,196
次期繰越損失	96,332	次期繰越利益	315,196

重要な会計方針

期 別 項 目	第 33 期 〔自 平成13年 4月 1日 至 平成14年 3月31日〕	第 34 期 〔自 平成14年 4月 1日 至 平成15年 3月31日〕
1．有価証券の評価基準及び 評価方法	(1) 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法 (2) その他有価証券 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価 法（評価差額は全部資本直入法によ り処理し、売却原価は移動平均法に より算定）を採用しております。 時価のないもの 移動平均法による原価法	(1) 子会社株式及び関連会社株式 同 左 (2) その他有価証券 時価のあるもの 同 左 時価のないもの 同 左
2．たな卸資産の評価基準及 び評価方法	(1) 商品 総平均法による原価法を採用して おります。 (2) 仕掛品 個別法による原価法を採用して おります。	(1) 商品 同 左 (2) 仕掛品 同 左
3．固定資産の減価償却の方 法	有形固定資産及び賃貸不動産 定率法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおり あります。 建物 22～38年 構築物 10～15年 工具器具及び備品 4～15年 賃貸不動産 37～47年	有形固定資産及び賃貸不動産 同 左
4．引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 売掛金等債権の貸倒れによる損失に 備えるため、一般債権については貸 倒実績率により、貸倒懸念債権等特 定の債権については個別に回収可能 性を勘案し、回収不能見込額を計上 しております。 (2) 賞与引当金 従業員賞与の支給に充てるため、支 給見込額のうち当期期間対応額を計 上しております。	(1) 貸倒引当金 同 左 (2) 賞与引当金 同 左

期 別 項 目	第 33 期 〔自 平成13年 4月 1日 至 平成14年 3月31日〕	第 34 期 〔自 平成14年 4月 1日 至 平成15年 3月31日〕
	<p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当 事業年度末における退職給付債務及 び年金資産の見込額に基づき計上し ております。</p> <p>なお、会計基準変更時差異 (363,692千円)については、5年 による均等額を費用処理しておりま す。</p> <p>数理計算上の差異は、各事業年度の 発生時における従業員の平均残存勤 務期間以内の一定の年数(5年)に よる定額法により按分した額をそれ ぞれ発生翌事業年度から費用処理 することとしております。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 役員に対する退職慰労金の支給に充 てるため、内規に基づく期末要支給 額を計上しております。</p>	<p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当 事業年度末における退職給付債務及 び年金資産の見込額に基づき計上し ております。</p> <p>なお、会計基準変更時差異 (324,976千円)については、5年 による均等額を費用処理しておりま す。</p> <p>数理計算上の差異は、各事業年度の 発生時における従業員の平均残存勤 務期間以内の一定の年数(5年)に よる定額法により按分した額をそれ ぞれ発生翌事業年度から費用処理 することとしております。</p> <p>(追加情報) 当社は、確定給付企業年金法の施行 に伴い、厚生年金基金の代行部分に ついて、平成14年5月27日に厚生労 働大臣から将来分支給義務免除の認 可を受けました。</p> <p>当社は「退職給付会計に関する実務 指針(中間報告)」(日本公認会計 士協会会計制度委員会報告第13号) 第47-2項に定める経過措置を適用 し、当該認可の日において代行部分 に係る退職給付債務と返還相当額の 年金資産を消滅したものとみなして 処理しております。</p> <p>本処理に伴う影響額は、特別利益と して156,299千円計上されております。</p> <p>なお、当事業年度末における返還 相当額は530,983千円であります。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 同 左</p>
5. リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転する と認められるもの以外のファイナンス・ リース取引については、通常の賃貸借取 引に係る方法に準じた会計処理によっ ております。	同 左

期 別 項 目	第 33 期 〔自 平成13年 4月 1日 至 平成14年 3月31日〕	第 34 期 〔自 平成14年 4月 1日 至 平成15年 3月31日〕
6. その他財務諸表作成のための重要な事項	<p>(1) 消費税等の処理方法 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。</p>	<p>(1) 消費税等の処理方法 同 左</p> <p>(2) 自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準 「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準」(企業会計基準第1号)が平成14年4月1日以後に適用されることになったことに伴い、当事業年度から同会計基準によっております。これによる当事業年度の損益に与える影響はありません。 なお、財務諸表等規則の改正により、当事業年度における貸借対照表の資本の部については、改正後の財務諸表等規則により作成しております。</p> <p>(3) 1株当たり情報 「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)が平成14年4月1日以後開始する事業年度に係る財務諸表から適用されることになったことに伴い、当事業年度から同会計基準及び適用指針によっております。 なお、これによる影響については、「1株当たり情報に関する注記」に記載しております。</p>

表示方法の変更

<p style="text-align: center;">第 33 期 〔自 平成13年4月1日〕 〔至 平成14年3月31日〕</p>	<p style="text-align: center;">第 34 期 〔自 平成14年4月1日〕 〔至 平成15年3月31日〕</p>
<p>前期まで営業外費用の「雑損失」に含めて表示していた「賃貸不動産管理維持費」は、営業外費用の合計額の100分の10を超えることとなったため区分掲記することに変更しました。</p> <p>なお、前期における「賃貸不動産管理維持費」の金額は2,122千円であります。</p>	

追加情報

<p style="text-align: center;">第 33 期 〔自 平成13年 4月 1日〕 〔至 平成14年 3月31日〕</p>	<p style="text-align: center;">第 34 期 〔自 平成14年 4月 1日〕 〔至 平成15年 3月31日〕</p>
<p>(金融商品会計)</p> <p>当事業年度からその他有価証券のうち時価のあるものの評価の方法について、金融商品に係る会計基準(「金融商品に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成11年 1月22日))を適用しております。この結果、従来の方法によった場合と比較してその他有価証券評価差額金が16,900千円計上されたほか、投資有価証券が29,189千円、繰延税金負債が12,288千円、それぞれ増加しております。</p> <p>(自己株式)</p> <p>前事業年度において資産の部に計上していた「自己株式」(流動資産1,123千円)は、財務諸表等規則の改正により当事業年度末においては資本の部の末尾に表示しております。</p>	

注記事項

(貸借対照表関係)

第 33 期 (平成14年3月31日現在)		第 34 期 (平成15年3月31日現在)	
1	有形固定資産の取得価額から控除した減価償却累計額 建物 109,114千円 構築物 34,099千円 工具器具及び備品 34,993千円 計 178,207千円	1	有形固定資産の取得価額から控除した減価償却累計額 建物 116,119千円 構築物 1,830千円 工具器具及び備品 35,845千円 計 153,796千円
2	賃貸不動産の取得価額から控除した減価償却累計額 建物 47,878千円	2	賃貸不動産の取得価額から控除した減価償却累計額 建物 34,164千円
3	授権株式数 98,000,000株 発行済株式数 26,051,832株	3	授権株式数 普通株式 98,000,000株 発行済株式数 普通株式 26,051,832株
4		4	自己株式 当社が保有する自己株式の数は、普通株式5,242株であります。
5	平成12年6月29日開催の定時株主総会における特別決議に基づき下記の欠損てん補を行っております。 資本金減少による欠損填補額 2,685,543千円	5	同 左
		6	配当制限 商法第290条第1項第6号に規定する資産に時価を付したことにより増加した純資産額は5,853千円であります。

(損益計算書関係)

第 33 期 〔自 平成13年 4月 1日〕 〔至 平成14年 3月31日〕	第 34 期 〔自 平成14年 4月 1日〕 〔至 平成15年 3月31日〕
<p>1</p>	<p>1 「固定資産売却益」の内訳は次のとおりであります。</p> <p style="padding-left: 20px;">賃貸不動産 9,716千円</p>
<p>2 「固定資産売却損」の内訳は次のとおりであります。</p> <p style="padding-left: 20px;">建物 5,202千円</p> <p style="padding-left: 20px;">土地 721千円</p> <p style="padding-left: 40px;">計 <u>5,923千円</u></p>	<p>2</p>
<p>3 時価が著しく下落している売却予定遊休固定資産の評価損であり、内訳は次のとおりであります。</p> <p style="padding-left: 20px;">建物 24,301千円</p> <p style="padding-left: 20px;">工具器具及び備品 464,946千円</p> <p style="padding-left: 20px;">土地 977,659千円</p> <p style="padding-left: 20px;">賃貸不動産 262,050千円</p> <p style="padding-left: 40px;">計 <u>1,728,957千円</u></p>	<p>3</p>
<p>4 研究開発費の総額 一般管理費に含まれる研究開発費は28,767千円であります。</p> <p style="padding-left: 20px;">なお、当期総製造費用に含まれる研究開発費はありません。</p>	<p>4</p>
<p>5</p>	<p>5 「固定資産除却損」の内訳は次のとおりであります。</p> <p style="padding-left: 20px;">構築物 2,579千円</p> <p style="padding-left: 20px;">工具器具及び備品 466千円</p> <p style="padding-left: 40px;">計 <u>3,046千円</u></p>

(リース取引関係)

第 33 期 〔自 平成13年 4月 1日〕 〔至 平成14年 3月 31日〕				第 34 期 〔自 平成14年 4月 1日〕 〔至 平成15年 3月 31日〕			
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引				リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引			
1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額				1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額			
	取得価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	期末残高 相当額		取得価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	期末残高 相当額
	千円	千円	千円		千円	千円	千円
工具器具及び備品	61,075	39,393	21,681	工具器具及び備品	63,261	47,550	15,710
合計	61,075	39,393	21,681	合計	63,261	47,550	15,710
2. 未経過リース料期末残高相当額				2. 未経過リース料期末残高相当額			
1年内			13,620千円	1年内			10,221千円
1年超			8,761千円	1年超			5,852千円
合計			22,382千円	合計			16,073千円
3. 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額				3. 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額			
支払リース料			14,117千円	支払リース料			15,639千円
減価償却費相当額			13,360千円	減価償却費相当額			14,845千円
支払利息相当額			699千円	支払利息相当額			456千円
4. 減価償却費相当額の算定方法				4. 減価償却費相当額の算定方法			
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。				同 左			
5. 利息相当額の算定方法				5. 利息相当額の算定方法			
リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については利息法によっております。				同 左			

(有価証券関係)

前事業年度(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)及び当事業年度(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)における子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

(税効果会計関係)

第 33 期 〔自 平成13年 4月 1日 至 平成14年 3月31日〕	第 34 期 〔自 平成14年 4月 1日 至 平成15年 3月31日〕																																																																																						
<p>(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <p style="text-align: center;"><u>第33期(平成14年 3月31日現在)</u></p> <table border="0"> <tr><td>繰延税金資産</td><td></td></tr> <tr><td>固定資産評価損否認</td><td style="text-align: right;">727,891</td></tr> <tr><td>有価証券評価損否認</td><td style="text-align: right;">75,826</td></tr> <tr><td>賞与引当金損金算入限度超過額</td><td style="text-align: right;">71,862</td></tr> <tr><td>会員権評価損否認</td><td style="text-align: right;">82,901</td></tr> <tr><td>未払事業税否認</td><td style="text-align: right;">43,860</td></tr> <tr><td>退職給付引当金超過額</td><td style="text-align: right;">140,900</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">102,936</td></tr> <tr><td>繰延税金資産小計</td><td style="text-align: right;">1,246,180</td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;">-</td></tr> <tr><td>繰延税金資産合計</td><td style="text-align: right;">1,246,180</td></tr> <tr><td>繰延税金負債</td><td></td></tr> <tr><td> その他有価証券評価差額金</td><td style="text-align: right;">12,288</td></tr> <tr><td>繰延税金負債合計</td><td style="text-align: right;">12,288</td></tr> <tr><td>繰延税金資産の純額</td><td style="text-align: right;"><u>1,233,891</u></td></tr> </table> <p>(2) 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位：%)</p> <p style="text-align: center;"><u>第33期(平成14年 3月31日現在)</u></p> <table border="0"> <tr><td>法定実効税率</td><td style="text-align: right;">42.1</td></tr> <tr><td>(調整)</td><td></td></tr> <tr><td> 交際費等永久に損金に算入されない項目</td><td style="text-align: right;">0.5</td></tr> <tr><td> 住民税均等割</td><td style="text-align: right;">0.8</td></tr> <tr><td> その他</td><td style="text-align: right;">0.9</td></tr> <tr><td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td><td style="text-align: right;"><u>39.9</u></td></tr> </table>	繰延税金資産		固定資産評価損否認	727,891	有価証券評価損否認	75,826	賞与引当金損金算入限度超過額	71,862	会員権評価損否認	82,901	未払事業税否認	43,860	退職給付引当金超過額	140,900	その他	102,936	繰延税金資産小計	1,246,180	評価性引当額	-	繰延税金資産合計	1,246,180	繰延税金負債		その他有価証券評価差額金	12,288	繰延税金負債合計	12,288	繰延税金資産の純額	<u>1,233,891</u>	法定実効税率	42.1	(調整)		交際費等永久に損金に算入されない項目	0.5	住民税均等割	0.8	その他	0.9	税効果会計適用後の法人税等の負担率	<u>39.9</u>	<p>(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <p style="text-align: center;"><u>第34期(平成15年 3月31日現在)</u></p> <table border="0"> <tr><td>繰延税金資産</td><td></td></tr> <tr><td>固定資産評価損否認</td><td style="text-align: right;">628,909</td></tr> <tr><td>有価証券評価損否認</td><td style="text-align: right;">83,104</td></tr> <tr><td>賞与引当金損金算入限度超過額</td><td style="text-align: right;">89,583</td></tr> <tr><td>会員権評価損否認</td><td style="text-align: right;">81,840</td></tr> <tr><td>未払事業税否認</td><td style="text-align: right;">28,476</td></tr> <tr><td>退職給付引当金超過額</td><td style="text-align: right;">153,014</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">101,891</td></tr> <tr><td>繰延税金資産小計</td><td style="text-align: right;">1,166,821</td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td style="text-align: right;">-</td></tr> <tr><td>繰延税金資産合計</td><td style="text-align: right;">1,166,821</td></tr> <tr><td>繰延税金負債</td><td></td></tr> <tr><td> その他有価証券評価差額金</td><td style="text-align: right;">3,984</td></tr> <tr><td>繰延税金負債合計</td><td style="text-align: right;">3,984</td></tr> <tr><td>繰延税金資産の純額</td><td style="text-align: right;"><u>1,162,836</u></td></tr> </table> <p>(2) 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位：%)</p> <p style="text-align: center;"><u>第34期(平成15年 3月31日現在)</u></p> <table border="0"> <tr><td>法定実効税率</td><td style="text-align: right;">42.1</td></tr> <tr><td>(調整)</td><td></td></tr> <tr><td> 交際費等永久に損金に算入されない項目</td><td style="text-align: right;">0.5</td></tr> <tr><td> 住民税均等割</td><td style="text-align: right;">1.2</td></tr> <tr><td> 税率変更による期末繰延税金資産の減額修正</td><td style="text-align: right;">4.9</td></tr> <tr><td> その他</td><td style="text-align: right;">0.3</td></tr> <tr><td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td><td style="text-align: right;"><u>49.0</u></td></tr> </table> <p>(3) 地方税法等の一部を改正する法律(平成15年法律第9号)が平成15年3月31日に公布されたことに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算(ただし、平成16年4月1日以降解消が見込まれるものに限る。)に使用した法定実効税率は、前事業年度の42.1%から40.5%に変更されております。その結果、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が39,337千円減少し、当事業年度に計上された法人税等調整額が39,494千円、その他有価証券評価差額金が157千円、それぞれ増加しています。</p>	繰延税金資産		固定資産評価損否認	628,909	有価証券評価損否認	83,104	賞与引当金損金算入限度超過額	89,583	会員権評価損否認	81,840	未払事業税否認	28,476	退職給付引当金超過額	153,014	その他	101,891	繰延税金資産小計	1,166,821	評価性引当額	-	繰延税金資産合計	1,166,821	繰延税金負債		その他有価証券評価差額金	3,984	繰延税金負債合計	3,984	繰延税金資産の純額	<u>1,162,836</u>	法定実効税率	42.1	(調整)		交際費等永久に損金に算入されない項目	0.5	住民税均等割	1.2	税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	4.9	その他	0.3	税効果会計適用後の法人税等の負担率	<u>49.0</u>
繰延税金資産																																																																																							
固定資産評価損否認	727,891																																																																																						
有価証券評価損否認	75,826																																																																																						
賞与引当金損金算入限度超過額	71,862																																																																																						
会員権評価損否認	82,901																																																																																						
未払事業税否認	43,860																																																																																						
退職給付引当金超過額	140,900																																																																																						
その他	102,936																																																																																						
繰延税金資産小計	1,246,180																																																																																						
評価性引当額	-																																																																																						
繰延税金資産合計	1,246,180																																																																																						
繰延税金負債																																																																																							
その他有価証券評価差額金	12,288																																																																																						
繰延税金負債合計	12,288																																																																																						
繰延税金資産の純額	<u>1,233,891</u>																																																																																						
法定実効税率	42.1																																																																																						
(調整)																																																																																							
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.5																																																																																						
住民税均等割	0.8																																																																																						
その他	0.9																																																																																						
税効果会計適用後の法人税等の負担率	<u>39.9</u>																																																																																						
繰延税金資産																																																																																							
固定資産評価損否認	628,909																																																																																						
有価証券評価損否認	83,104																																																																																						
賞与引当金損金算入限度超過額	89,583																																																																																						
会員権評価損否認	81,840																																																																																						
未払事業税否認	28,476																																																																																						
退職給付引当金超過額	153,014																																																																																						
その他	101,891																																																																																						
繰延税金資産小計	1,166,821																																																																																						
評価性引当額	-																																																																																						
繰延税金資産合計	1,166,821																																																																																						
繰延税金負債																																																																																							
その他有価証券評価差額金	3,984																																																																																						
繰延税金負債合計	3,984																																																																																						
繰延税金資産の純額	<u>1,162,836</u>																																																																																						
法定実効税率	42.1																																																																																						
(調整)																																																																																							
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.5																																																																																						
住民税均等割	1.2																																																																																						
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	4.9																																																																																						
その他	0.3																																																																																						
税効果会計適用後の法人税等の負担率	<u>49.0</u>																																																																																						

(1 株当たり情報)

第 33 期 〔自 平成13年 4 月 1 日〕 〔至 平成14年 3 月 31 日〕	第 34 期 〔自 平成14年 4 月 1 日〕 〔至 平成15年 3 月 31 日〕
1 株当たり純資産額 119円21銭	1 株当たり純資産額 134円58銭
1 株当たり当期純損失 22円57銭	1 株当たり当期純利益 15円80銭
<p>なお、1 株当たり情報の計算については、当期より自己株式数を控除して算出しております。</p> <p>潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額については、新株引受権付社債及び転換社債を発行していないため記載しておりません。</p>	<p>潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。</p> <p>当事業年度から「1 株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第 2 号)及び「1 株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 4 号)を適用しております。なお、これによる影響はありません。</p>

(注) 1 株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第 33 期 〔自 平成13年 4 月 1 日〕 〔至 平成14年 3 月 31 日〕	第 34 期 〔自 平成14年 4 月 1 日〕 〔至 平成15年 3 月 31 日〕
当期純利益(千円)	-	411,529
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	-	411,529
期中平均株式数(千株)	-	26,048

(重要な後発事象)

第 33 期 〔自 平成13年 4月 1日〕 〔至 平成14年 3月31日〕	第 34 期 〔自 平成14年 4月 1日〕 〔至 平成15年 3月31日〕
<p>厚生年金基金の代行部分の返上</p> <p>当社は、確定給付企業年金法の施行に伴い厚生年金基金の代行部分について、平成14年5月27日に厚生労働大臣から将来分の給付義務免除の認可を受けました。</p> <p>なお、当社は、「退職給付会計に関する実務指針(中間報告)」(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第13号)第47-2項に定める経過措置を適用し、当該認可の日において代行部分に係る退職給付債務の消滅を認識する予定であります。</p> <p>これにより、翌事業年度の損益に与える影響額は162,693千円(利益)の見込みであります。</p>	

役員 の 異 動

(現在の役職名) 氏 名 (予想される役職名)

1. 代表者の異動(平成15年6月27日付)

該当がありません。

2. その他の役員

(1) 新任取締役候補(平成15年6月27日付)

(株)エヌ・ティ・ティ・データ カスタマーサービス
代表取締役常務

新 井 章 治

常務取締役
第三システム事業部担当
(兼)企画部担当

藪 寄 稔

常務取締役統括管理本部長
(兼)経理部長

エレクトロニック・データ・システムズ
アジア・日本地域担当社長付
ファイナンシャル・パートナー

マイケル マイケル

取締役(非常勤)

(2) 退任取締役(平成15年6月27日付)

専務取締役統括管理本部長

武 藤 茂

常務取締役 エリア事業部長

国 田 光 行

顧 問

取締役(非常勤)

クリス ミ - ガ -

(3) 辞任取締役(平成15年6月27日付)

取締役(非常勤)

デ - ビット エム
コ ス ト

(4) 新任監査役候補(平成15年6月27日付)

統括管理本部経理部長

佐 藤 信

常勤監査役

エヌ・ティ・ティコムウェア(株) 顧問

刑 部 稔

監査役

(5) 退任監査役(平成15年6月27日付)

常勤監査役

野 崎 宗

監査役

塚 本 和 孝

以 上